

令和2年度決算を認定！

一般会計総額129億5,341万円

主な事業をピックアップ！

筆の里工房事業

コロナ対策としての設備購入への補助金及び熊野筆セレクトショップへの誘客を図るため広島駅構内に電子広告を掲示した



(1億3,338万円)

主な質疑

- Q. 広告掲示の効果は？
 A. GOTOキャンペーン期間を含めホテルグランヴィア広島にあるセレクトショップへの誘客を図った。効果はあったと聞いている。
- Q. コロナにより事業の中止や休館をしているが、補助金の削減などの効率化を図るべきではないか？
 A. セレクトショップ銀座T^アUの家賃補助を受けたり、人件費などの固定費の削減により効率化に努めている。

町道局部改良事業

狭い道路を拡幅するための用地購入、設計業務、道路改良工事（初神地区など）



(5,920万円)

- Q. 初神地区の改良箇所（熊野東防災交流センター方向へ続く町道）について、令和3年度中に工事は完了するのか？
 A. 令和4年3月末には工事は完了する。
- Q. 出水期（集中豪雨や台風の多い時期）に、間に合っていないが、なぜ工事が遅れているのか？
 A. 地元から農耕期は避けてほしいと要望があったため。

廃棄物収集運搬事業

ごみステーションに出されたごみや資源物を収集し処理施設へ運搬した



(7,452万円)

- Q. 新聞紙などの資源物は雨で濡れると可燃ごみになる。リサイクルの周知を図るべきではないか？
 A. 転入者にはごみの正しい出し方を周知している。
- Q. 資源物は年間960万円の町の収入になっている。ごみステーションに屋根をつけるなどの補助金を出せないか？
 A. ごみステーションに屋根をつけても、トラックに積み込む際に濡れてしまうため、考えていない。

特別定額給付金給付事業

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として町民1人につき10万円の給付金を支給した



(23億9,343万円)

主な質疑

- Q. 熊野町では医療・介護・福祉の従事者に1人3万円の給付金が支給された。放課後児童クラブ支援員は学校が休校になっているときも従事されていたが給付金は支給されていない。何か対応はしているのか？
 A. 放課後児童クラブ支援員は町の職員なので給付金の対象から外した。ただし、当町のクラブ支援員の報酬単価が、近隣と比較して低かったため、この機会に報酬の額改定を行った。

東部地域防災センター（仮称）建設事業

東部地域の防災拠点として熊野東防災交流センターを建設した



(4億6,051万円)

- Q. 初めて避難者を受け入れたときに停電になったと聞いている。広いホールでは空調が効かないとのことだが避難者が多い場合の対策は？
 A. 自家発電機を備えており最低限の電力使用で72時間対応できるが、ホール内の大型空調は利用できない。扇風機やスポットクーラーなどで対応したい。

小中学校トイレ改修事業

便器の洋式化、多目的トイレの設置、内装全面改修工事他を実施した



(3億5,605万円)

- Q. 他市町と比べて工事費が高くないか。
 A. この度のトイレ改修工事では、便器の洋式化に加え、多目的トイレの設置・小便器の更新・給排水管の更新・トイレブースの更新・床面を湿式から乾式に改修するなど、内装全面改修工事を施工した。施工箇所数も多く、事業費が多額になったが、国の示す積算基準により適正に設計し、競争入札等の契約手続きを経て執行している。

(各ページの数値については表記単位未満を四捨五入しています)